



古田っ子だより

西之表市立古田小学校
〒891-3431
西之表市古田1225
TEL 0997-23-8910
Fax 0997-23-8925

【校訓】 かしこく なかよく たくましく

【キャッチフレーズ】「元気いっぱい 笑顔いっぱい 地域とともに伸びる古田小」

☆ 古田小ホームページ <http://www.nishinoomote.jpn.org/furuta/>

☆ 古田っ子ブログ <http://furutasyou.synapse-blog.jp/furuta/>

傍(はた)を楽(らく)にする!

11月23日は「勤労感謝の日」です。この日は「勤労をたっぴ、生産を祝い、国民が互いに感謝しあう日」という趣旨で制定されたものです。

第二次世界大戦前までは、この日を「新嘗祭」(にいなめさい)といい、天皇がその年の新穀などの収穫物を神々に供えて感謝し、自らも食するという祭事が行われてきた日です。戦後、新たに制定され日本国憲法には「すべて国民は、勤労の権利を有し、義務を負う」と明示され、祝祭日に選定し直されました。

さて、「働く」(はたらく)とは、「傍」(はた)を「楽」(らく)にする、「傍」つまり、自分以外のまわりの誰かを楽にすることであり、自分以外の誰かを楽ませ、幸せにすることであると聞いたことがあります。また、ある作家は英語の働く(work)や労働(labor)という言葉には、「苦役」という意味が含まれているが、日本語の「働く」という言葉は、「誰かを幸せにする」ということを意味していると言っていました。日本における「働く」や「仕事」には、他人も幸せにするが、自己完成という修養的な意味合いもあると思います。

わたしたち大人も、子どもの頃から「働く(勤労)」を行ってきています。

わたし自身も子どもの頃から家業の手伝いや田畑の作物の植付から収穫、家畜(豚や鶏)の世話などをやってきました。また、中学2年生から、父にほぼ強制的にやらされた新聞配達は、大学卒業まで続けました。

大学時代の4年間は、新聞販売店にある寮に住み込みで、朝・夕刊の配達や折込・チラシ入れ、購読料集金等の仕事をしました。その仕事

をすることで、新聞社に奨学金(授業料)を出してもらう「新聞奨学生制度」を活用することができました。わたしの場合、家での手伝いや仕事も同様ですが、新聞を各家庭に届け、「ありがとう」の一言をいただくことで、喜びや役に立っているという実感がありました。貴重な体験であり、今でも忘れられない仕事です。

古田小の子ども達には、これからも身近な学校生活での係や委員会の仕事、家庭でのお手伝いを自分から進んですることを指導していきます。そして、学級や学校のため、家庭・家族のために、一生懸命に働くことが学校生活や家庭生活をよりよくし、明るくしていくことを学ばせていきます。その経験が自分の喜びややる気、将来の夢や目標につながっていけば、幸いです。

いよいよ12月をむかえます。「実りの秋」終盤が充実したものになるよう、学習面・生活面を中心に、職員一同、指導に努めてまいります。

校長



これからの主な行事



12月

- 1日(木) 校内持久走大会, 学校保健委員会
- 学級委PTA
- 5日(月) 校内人権週間(~10日)
- 8日(木) にっこりスマイル集会
- 10日(土) 人権教室
- 13日(火) 小学校集合学習(第5学年)
- 18日(日) PTA門松作り, 美化活動
- 23日(金) 第2学期終業式

1月

- 1日(日) 校区歩こう会
- 10日(火) 第3学期始業式
- 11日(水) いじめ問題を考える週間(~14日)
- まなび~ウィーク
- 17日(火) 鹿児島学習定着度調査(~19日)
- 19日(木) 一校一運動発表会
- 26日(木) 種子島中学校入学説明会(予定)

* 学校行事・PTA行事共に現時点でのものです。今後の変更等があります。

地域が育む「かごしまの教育」県民週間(11/1・4)

11月1日～7日は地域が育む「かごしまの教育」県民週間でした。学校関係者評価委員会や長生会の方々、地域の方々が授業を見に来られたり、お家の方による読み聞かせ会や給食センターの方とのふれあい給食もしました。

長生会との交流では、くじ引きトークをして互いのことを知ったり、折り紙をしてふれ合ったりすることで、子どもたちと地域の方との距離がまた縮まったように感じました。長生会の方も「元気をいっぱいもらった。」と喜んでくださいました。

お家の方の読み聞かせ会は、子どもたちも絵本の台詞を言ったり、クイズに答えたりと楽しく参加することができました。また、「島neco会」の方の紙芝居もあり、生き物を飼うことへの責任についても考えることができました。

子どもたちはたくさんの方に見られ、緊張したと思いますが、コロナ禍で地域行事の実施も難しい中、地域の方々に子どもたちの頑張る姿を見ていただいたり、交流したりすることができうれしく思います。今後も「元気いっぱい 笑顔いっぱい 地域とともに伸びる古田小(古田小キャッチフレーズ)」として、地域の方々との関わりを深めていきたいと思っています。



【学校関係者評価委員会】



【長生会との交流】



【お家の方による読み聞かせ会】



【ふれあい給食】

協力隊OBが先生(11/7)

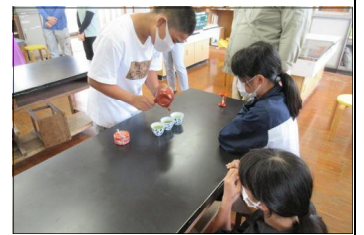
青年海外協力隊として、中米のコスタリカに行かれた方に、コスタリカの公用語(スペイン語)での挨拶や学校の様子について学びました。また、コスタリカから持って帰ってきたという「ハスレスオカブ」の標本も見せていただき、子どもたちは大興奮でした。外国の生活や文化について学び、日本との違いに気付く、外国への関心も高まったと思います。



お茶とのふれあい(11/11)

種子島茶業研究会の方々にお茶についてや、お茶を淹れる際のお湯の温度や注ぎ方などを学びました。「古田のお茶」ということでもあります。自分で淹れたお茶はさらにおいしく感じたことでしょう。

今回の学習で、子どもたちは急須と茶葉をいただきました。休日は家でお茶を淹れ、家族団らんの時間を楽しむのもいいですね。



かがやき発表会(11/14・15)

かがやき発表会では、2年生は国語の「お手紙」の劇、3～6年生は総合的な学習の時間で調べたことを発表する「古田博士になろう」(3・4年)、「種子島博士になろう」(5・6年)をしました。また、市の小・中音楽祭で発表した「にじ」(合唱)と「世界中の子供たちが」(合奏)も披露しました。緊張しながらも練習したことを地域・保護者の方々に見てもらおうと、精一杯頑張る姿が見られました。

